

教養科目

授業科目名	右上表示
心と健康	教養-A1
政治学	教養-A2
経済学入門	教養-A3
日本国憲法（テキスト）	教養-A4(1)
日本国憲法（夏期スクーリング）	教養-A4(2)
地域研究	教養-A5
社会と文化	教養-A6
数学	教養-B1
物理学が拓いた世界	教養-B2
生命の科学	教養-B3
化学の世界	教養-B4
人間生理学	教養-B5
歴史学	教養-C1
文学	教養-C2
言語と情報	教養-C3
英語圏の文化	教養-C4
美術の歴史	教養-C5

心と健康 (集中スクーリング)

担当教員：吉原 啓

1 年次～ 選択必修 2 単位

スクーリング科目/2025 年度

概要

人間の健康は、心と身体が相互に深く関連し保たれています。この講義では、主に心の視点から健康についての様々な考え方を紹介し、私たちの「心と健康」について考え、理解することを目的とします。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業 (manaba, Zoom 利用)】

Zoom を利用した同時双方向型授業、テキストと PowerPoint を使った講義、Zoom のブレイクアウトルームを利用したグループワーク、Google フォームや manaba を利用したリアクションペーパーと最終回論述試験の実施

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

人間の心と健康というテーマについて、心の視点から様々な理論や考え方を理解し、自分自身のこれまでに振り返り、これからの「心と健康」について深く考察できるようになる。

授業計画

一日目 1～5 Zoom による授業

1. 「心と健康」オリエンテーション：学習について
2. 脳と学習・モチベーション
3. 認識について
4. 成長・発達理論
5. 自己理解と心の健康：パーソナリティと自己概念

二日目 6～10 Zoom による授業

6. 精神的健康
7. 精神病理・精神疾患
8. ストレス・ストレスマネジメント
9. 心理療法・カウンセリング理論 (1) 認知行動アプローチ

10. 心理療法・カウンセリング理論 (2) パーソンセンタードアプローチ

三日目 11～15 Zoom による授業

11. 人間関係
12. コミュニケーション
13. リスク管理
14. 今後の自分について考える
15. 振り返り・論述試験

受講生の関心や理解度に応じて、講義の順序や内容の重点の置き方などは変更することがあります。

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

前もって講義の内容に沿った教科書を読み、授業に臨むこと。準備学習時間は一回の授業につき 3 時間程度が目安です。

② 使用教科書 ワークショップ 大学生活の心理学 藤本忠明・東正訓編著 ナカニシヤ出版 2009 年 資料配付

③参考書 なし

④準備するもの 筆記用具

⑤成績評価 授業内のリアクションペーパー30%、最終回論述試験 70%

⑥学生へのメッセージ

この授業では、受動的に授業を受けるのではなく、様々なテーマに関して主体的に自分で考え、自分の考えを伝えることを重視します。また、他の学生と意見交換をする中で、様々な立場や考えを知り、視野を広げましょう。

⑦追試験 対象科目

政治学（テキスト）

担当教員： 東郷 育子

1 年次～ 選択必修 2 単位

テキスト科目／2025 年度

概要

世界は刻々と変化し、動いています。政治学は歴史も含む様々な事象をどのように理解すればよいのかを教えてくれる学問です。本科目では政治学の基礎的知識から専門的知識に至るまで楽しくかつ気軽に学べるように構成されています。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

政治学及び国際政治の基礎知識を身につけ、政治の事象を理解できるようになること。政策はどうやってできるのか、現実の政治にどのように展開されているのか、問題意識や解決の道筋を考えることができるようになること。

学習の進め方

テキストを読みながら、常に現実の、また身近な問題から紐解いてみましょう。わからない言葉がある場合、読み飛ばしたり、そのまま放置することなく、事典や辞書、インターネット情報などを丹念に調べる。新聞を毎日読んでみる習慣をつけましょう。

内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 政治学をどう理解し取り組んでいくか | 9. 政治意識と政治文化とは何か |
| 2. 政治学の基礎的な概念や知識を学ぶ | 10. 国家の再編・分権化・統合の行方 |
| 3. 政治体制、政治変動、民主化を学ぶ | 11. 国際政治の基礎知識を学ぶ |
| 4. 政治と経済の関係を学ぶ | 12. 人間的悲惨、戦争と平和を考える |
| 5. 福祉国家とは何かを学ぶ | 13. 国境を越える地球的問題群とは |
| 6. 自由民主主義体制とは何か | 14. 伝統的な政治学から実証的な政治学へ |
| 7. 公共政策の立案・決定・実行 | 15. 揺れる政治・国際情勢を学ぶ |
| 8. 政党と政党政治を学ぶ | |

テキスト・参考書

①テキスト 現代政治学(第4版) 加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦 有斐閣アルマ 2012、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 比較的に読みやすい内容の入門書2冊紹介します。

- ① 教養としての政治学入門 成蹊大学法学部編著 筑摩書房 2019
② 政治学の第一歩 砂原他著 有斐閣ストゥディア 2020

成績評価

①レポート

問題設定がちゃんとできているか、タイトルと何を書きたいのか内容に整合性があることに留意してください。多くを語る必要はありませんが、ダラダラ書くのではなく、要点を絞り、読みやすくするように心掛けてください。論理性で30点、構成で30点、理解度で30点、出来映え10点の配点となります。

②科目修了試験

範囲指定した章の内容から、5つの設問を提示します。そのうち1問を選択して答えるテストです。選択した問いの出題意図を理解しているのか、問われた内容を的確に答えているかどうか、解答の内容に努力しているか、などから総合的に評価します。

その他

新聞、テレビ、インターネット上のニュースをつねにチェックしてください。

経済学入門（夏期スクーリング）

担当教員： 福山 博文

1 年次～ 選択必修 2 単位

スクーリング科目／2025 年度

概要

本授業では、消費者の購買行動や企業の利潤最大化行動、政府の政策立案など様々な経済活動の仕組みを明らかにすることを目的とする「経済学」の基本的概念を解説する。経済学は、大きくミクロ経済学とマクロ経済学に分かれる。ミクロ経済学は、経済の最小単位である家計や企業、政府などの意思決定や行動を研究するのに対し、マクロ経済学は、家計や企業、政府などをひとくくりにした経済全体の動きについて分析するものである。経済学のほとんどの応用分野がミクロ経済学の基礎の上に成り立っており、経済学の習得において、ミクロ経済学の理解は欠かせない。したがって、本授業では、ミクロ経済学の基礎理論を解説した上で、その理論を実証するデータを紹介しながら、経済学的な考え方の習得を目指す。本授業では、伝統的なミクロ経済学で扱われる消費者の理論や生産者の理論、市場の理論に加えて、ゲーム理論などの最新のトピックまでを概観する。

授業の方法

【動画視聴型（manaba 利用）】

動画視聴型による授業。manaba に掲載される動画を閲覧して、manaba の小テスト機能やレポート機能を使って課題を提出してもらう。質問等については、manaba を用いて受け付ける。

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

- ・経済学の基本的な考え方を身につける。
- ・市場の働きとその限界について理解する。
- ・市場の仕組みを図や数式を用いて分析できるようになる。

授業計画

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 経済学の基本原理（第1日：動画視聴型（manaba）） | 9. 政府の役割（第4日：動画視聴型（manaba）） |
| 2. 需要と供給（第1日：動画視聴型（manaba）） | 10. 労働市場（第4日：動画視聴型（manaba）） |
| 3. 消費者の理論（第1日：動画視聴型（manaba）） | 11. 小テストの解答の解説（第4日：動画視聴型（manaba）） |
| 4. 生産者の理論（第2日：動画視聴型（manaba）） | 12. 独占市場（第5日：動画視聴型（manaba）） |
| 5. 市場の理論（第2日：動画視聴型（manaba）） | 13. ゲーム理論（第5日：動画視聴型（manaba）） |
| 6. 小テストの解答の解説（第2日：動画視聴型（manaba）） | 14. 行動経済学（第6日：動画視聴型（manaba）） |
| 7. 貿易（第3日：動画視聴型（manaba）） | 15. 小テストの解答の解説（第6日：動画視聴型（manaba）） |
| 8. 外部性と公共財（第3日：動画視聴型（manaba）） | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

③参考書に示すミクロ経済学の入門書を1冊購入し（あるいは図書館で借りて）、各回の該当箇所を読んで授業に臨むこと。1回の授業につき最低1時間。

②使用教科書 特になし。授業において使用する音声付きパワーポイントをmanabaからダウンロードしてください。

③参考書

- ・ミクロ経済学 アセモグル・レイブソン・リスト 東洋経済新報社 2020
- ・ミクロ経済学の基礎 小川光・家森信善 中央経済社 2016
- ・スタートダッシュ経済学 伊ヶ崎大理・大森達也・佐藤茂春・内藤徹 勁草書房 2019

④準備するもの 筆記用具、ノートなど。

⑤成績評価 小テスト70%、課題レポート30%

⑥学生へのメッセージ 特になし。

⑦追試験 対象外科目

日本国憲法（テキスト）

担当教員： 田中 洋

1 年次～ 選択必修 2 単位

テキスト科目／2025 年度

概要

日本国憲法を読むと、お世辞にも美しい日本語とは言い難い。それゆえ法学を初めて学ぶ者にとっては、まるでラビリンス（迷宮）のように感じられるのも仕方がないことであろう。

しかし法学は、実は論理的思考と厳格な用語法を持つ合理的な世界でもある。憲法の学習も、条文、最も一般的・基本的な考え方（通説）、具体的な事件に裁判所がどのような判断を下しているのか（判例）、という 3 つを中心に考えることになる。本科目でも、この点を中心に、人権、平和、国家の仕組みなどについて学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ・憲法とは何か、人権の意義、立憲主義など、基本的な事柄を本質的に理解する。
- ・日常生活の中で生じる様々な問題を、憲法的視点から考えることができる。

学習の進め方

テキストを第 1 編を中心に一読した後、レポート課題を確認し、関係箇所を見極めながらテキストを熟読する。レポート作成にあたっては、課題 1 はテキストとともに参考書にもあたりながら、課題 2 はテキストを精読し、適宜学習を深める。

内容

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. インTRODクション…序論、序章 | 9. 社会権、参政権、請求権 |
| 2. 人権の享有主体 | 10. 国民権、国会 |
| 3. 憲法の私人間効力、公共の福祉 | 11. 内閣 |
| 4. 包括的基本権 | 12. 裁判所 |
| 5. 精神的自由①思想・良心の自由、表現の自由 | 13. 地方自治、平和主義、憲法改正 |
| 6. 精神的自由②信教の自由、学問の自由 | 14. 科目修了試験へ向けた準備① |
| 7. 経済的自由 | 15. 科目修了試験に向けた準備② |
| 8. 人身の自由 | |

テキスト・参考書

①テキスト 教職教養 日本国憲法 補訂第 2 版 坂田仰・田中洋 八千代出版 2011、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②参考書
- ①憲法 第 8 版 芦部信喜、高橋和之補訂 岩波書店 2023
 - ②憲法判例百選Ⅰ 第 7 版 長谷部恭男他編 有斐閣 2019
 - ③憲法判例百選Ⅱ 第 7 版 長谷部恭男他編 有斐閣 2019
 - ④学校・法・社会 坂田仰 学事出版 2002

成績評価

①レポート 課題について理解しているか、レポートとしての完成度を含めて総合的に評価する。

②科目修了試験 第 1 問、第 2 問とも 50 点とし、合計点で評価する。

その他

日常の中にある憲法に関わる問題について敏感になるために、テレビや新聞などのニュースに親しむようにしましょう。また、公務員試験、行政書士試験等、法学系資格試験の受験を考えている学生の受講も歓迎します。

日本国憲法（夏期スクーリング）

担当教員： 高橋 和則

1 年次～ 選択必修 2 単位

スクーリング科目／2025 年度

概要

憲法および日本国憲法に関する基本的な知識と理解の獲得を目的とした講義です。これらについて知識のない方が受講されることを前提としています。しかし、一定の知識のある方の受講も歓迎します。今季は遠隔授業によって実施します。具体的には音声付のスライドを視聴してもらうやり方です。

授業の方法

【動画視聴型（manaba 利用）】

動画視聴型遠隔授業（manaba 利用）を行います。manaba にある URL をクリックしてスライドを見ながら音声を視聴してもらう形式です。途中で止めることも、もう一度聞き返すことも可能です。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ①憲法と立憲主義がいかなるものかを理解する。
- ②日本国憲法の特徴を理解する。
- ③教職などの資格試験に必要な日本国憲法の知識を身につける。

授業計画

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| (カッコ内はテキストのページ数) | 8. 日本の憲法 2 日本国憲法と国民主権(134-7) |
| 1. イントロダクション 講義の方針と法律の概要 | 9. 人権の享有主体性 外国人・法人・公務員その他(24-34) |
| 2. 憲法が現れる時 尊属殺重罰規定事件を例として(51-2) | 10. 憲法の私人間効力・法律の留保と公共の福祉(34-42) |
| 3. 憲法の成立 憲法史的検討 | 11. 包括的基本権(43-60) |
| 4. 現代の事例から 公権力と憲法(131-2) | 12. 思想・良心の自由(61-4) |
| 5. 憲法の最高法規性 1 憲法改正と平和主義(179-183) | 13. 信教の自由(77-89) |
| 6. 憲法の最高法規性 2 違憲審査制(168-171) 平等原則 | 14. 表現の自由(64-76) |
| 7. 日本の憲法 1 大日本帝国憲法と天皇主権(15-8) | 15. 学問の自由、教育を受ける権利(86-9、118-124) |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

講義で触れるテキストの部分に目を通してみる（わからなくてよい）。[授業計画] のページ数を目安にせよ。復習の仕方は初回講義時に指示する。予復習合わせて最低1時間。

②使用教科書 ①教職教養 日本国憲法 補訂第2版 坂田仰・田中洋 八千代出版 2011

②プリント manaba 上にアップロードいたします。

③各種法律の条文（初回に指示します） 六法があるとよいが（近隣）図書館でのコピー、ネット利用も可

③参考書 ①憲法第8版 芦部信喜 岩波書店 2023

②法律学小事典第5版 高橋和之編集 有斐閣 2016（近隣などの図書館を利用してください）

④準備するもの [使用教科書]のみ。

⑤成績評価 manaba 上で行う複数回の小テストにより成績を評価します。単位取得希望者は必ず全てを受験してください。

⑥学生へのメッセージ 憲法や日本国憲法に関する事前の知識は必要としない（[概要]参照）。

⑦追試験

対象科目

地域研究（夏期スクーリング）

担当教員：近藤 光博

1 年次～ 選択必修 2 単位

スクーリング科目／2025 年度

概要

南アジア地域の大国であるインドにおける、いわゆる「宗教紛争」の歴史を講ずる。この地域にとく大きな傷跡を残してきたのは、ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の間での紛争対立である。その最たるものが 1947 年の印パ分離独立（インドとパキスタンが別個の国としてイギリス植民地支配から独立したこと）とそれに伴う凄惨な内戦である。問題解決の糸口すら見いだせない状態が今もつづく。この紛争はいかにして生じ、また持続しているのか。その要因を、政治経済、宗教文化、双方の局面から通時的に解説する。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom 利用）】 ※ 質問等は、manaba の「掲示板」でも受け付ける。

学位授与方針との関係

大学 D P3

到達目標

- ① 南アジア地域に関する基本的な地理と歴史に関する知識を得たと自覚できる。
- ② インドの政治経済、宗教文化について、より深い知識と理解を得たと自覚できる。
- ③ インドにおける宗教紛争の問題を歴史的な観点から多角的・複眼的に理解できる。
- ④ 学問としての地域研究の視点や方法について、より深い理解を得たと自覚できる。

授業計画

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. イントロダクションー南アジア概観 | 10. イギリス植民地支配（４）ーナショナリスト運動の時代 |
| 2. 宗教紛争とコミュニナリズム | 11. 独立インド（１）ーネルーの近代主義とその動揺 |
| 3. コミュナリズムの現在 | 12. 独立インド（２）ーヒンドゥー・コミュニナリズムの再台頭 |
| 4. 前史（１）ーインドにとってムスリムは余所者か | 13. 独立インド（３）ーアヨーディヤー暴動とその後 |
| 5. 前史（２）ーヒンドゥーの一体性とは | 14. 独立インド（４）ーヒンドゥー・ナショナリズムの時代 |
| 6. 前史（３）ーキリスト教と科学と啓蒙のイギリス | 15. まとめ |
| 7. イギリス植民地支配（１）ーオリエンタリストの時代 | |
| 8. イギリス植民地支配（２）ーアングリシストの時代 | |
| 9. イギリス植民地支配（３）ーコミユナル暴動の発生 | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

高等学校の世界史 A 程度の知識があるのが望ましい。インド近代史（イギリスによる植民地支配の期間）、およびインド現代史（独立以降、現在にいたる期間）の部分を一読していただくことが望ましい。ただし、事項を暗記する必要はない。所要時間は 90 分ほど。

②使用教科書 指定しない。プリントを配付する。

③参考書 授業時間内に指示する。

④準備するもの 筆記用具のみ。

⑤成績評価 授業内容に関する質問・発言 30% 授業終了後に提出する課題レポート 70%

⑥学生へのメッセージ

日印関係が日々進展する昨今、インドの政治経済、宗教文化をコンパクトに知るのに大変よい機会と思われます。ぜひ積極的な姿勢で参加してください。また、manaba や Zoom を活用した授業になりますので、ネット環境等を事前にチェックしておいてください。

⑦追試験 対象外科目

社会と文化（後期土曜スクーリング）

担当教員：松井 生子

1 年次～ 選択必修 2 単位

スクーリング科目／2025 年度

概要

本講義では文化人類学の理論を基礎に置き、さまざまな地域の事例を取り上げながら、文化の多様性と共通性、社会と文化の連関、普段何気なくおこなっていることに宿る意味について理解を深めることをめざします。まず社会と文化の概念、事象を見る視点について検討し（第1日）、その後、社会において人をつなぐ文化の役割（第2日）、人間が世界の中で自己を位置付ける方法（第3日）、異なる文化が接触する局面（第4日）、現代社会の問題群と文化（第5～6日）を考察していきます。

授業の方法

【 同時双方向型遠隔授業（manaba、Zoom 利用） 】

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

- ① 自分自身の思考の枠組を相対化し、社会と文化について多角的に分析することができる。
- ② 文化概念を手掛かりとして、人間存在の多様性と共通性について自分の言葉で説明できる。

授業計画

1. イントロダクション ～ 文化とは／社会とは
2. 文化相対主義の視点（第1日：zoom のち manaba）
3. 人と人の関係をつなぐ（1）贈与交換
4. 人と人の関係をつなぐ（2）モラル・エコノミー
5. 人と人の関係をつなぐ（3）むすぶ行為としての結婚
（第2日：zoom のち manaba）
6. 世界の中に自己を位置づける（1）儀礼・象徴
7. 世界の中に自己を位置づける（2）宗教的実践の世界
8. 世界の中に自己を位置づける（3）ジェンダーと身体の構築性
（第3日：zoom のち manaba）
9. 接触領域における文化（1）観光のまなざし
10. 接触領域における文化（2）創造される伝統文化
11. 接触領域における文化（3）グローバリゼーションと文化の行方
（第4日：zoom のち manaba）
12. 現代社会と文化（1）「民族」の生成
13. 現代社会と文化（2）環境の文化的・社会的側面
（第5日：zoom のち manaba）
14. 現代社会と文化（3）戦争および災害後の社会の再生
15. 授業の総括（第6日：zoom のち manaba）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

1 回の授業につき 1 時間程度。manaba で事前配信するレジュメ等の内容を確認すると共に、授業に関連したウェブサイト、文献等をチェックすること（レジュメ配信時期等、詳細はmanabaにてお知らせします）。

②使用教科書 特に指定なし。必要な資料はレジュメと共にmanabaにて適宜配信します。

③参考書 梅屋潔・シンジルト（編）．『新版 文化人類学のレッスン：フィールドからの出発』学陽書房．2017 年．

④用意するもの 特に指定なし。

⑤成績評価 各授業日の終わりに出題する課題 30%、最終レポート 70%（いずれも manaba にて実施）を目安として、総合的に評価します。

⑥学生へのメッセージ 社会と文化について、事例を検討しながら一緒に考えていきましょう。

⑦追試験 対象外科目

数学（テキスト）

担当教員： 夏井 利恵

1 年次～ 選択必修 2 単位

テキスト科目／2025 年度

概要

〔第 1 部 線形代数〕

線形代数は多変数を扱う際の基本的な道具であり、現代数学の基礎の重要な一部をなしている。線形代数の基礎を学ぶことにより、数学のより深遠な広がりに触れることと、自然科学のみならず社会科学で実際に使うことができる力を身につけることを目的とする。

〔第 2 部 微分積分〕

微分積分は数学の中でも長い歴史をもつ、多くの自然科学の分野で必須の道具として使われてきた分野である。微分積分の基礎を学ぶことにより、科学的な考え方や定量的な議論の方法を身に付けることを目的とする。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

「基礎数学」の中から、〔第 1 部 線形代数〕 または 〔第 2 部 微分積分〕 のどちらか一つを選んで学習する。（いずれも 6 割の正解を合格基準とする。）

線形代数、或いは、微分積分学の基礎を学ぶことにより、数学的・科学的な考え方や方法論を身につけることを目標とする。

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める。

レポート課題を確認し、改めてテキストに基づき学習する。

科目終了試験に向けて学習する。

内容

〔第 1 部 線形代数〕 選択者

1. ベクトルの演算
2. ベクトルの成分表示
3. ベクトルの内積
4. 行列の定義と演算
5. 正方行列と逆行列
6. 連立 1 次方程式と行列
7. 行基本変形
8. 行列の階数
9. 連立 1 次方程式の解
10. 掃き出し法
11. 行列式の定義
12. 行列式の性質
13. クラメールの公式
14. ベクトル空間と 1 次変換
15. 固有値と固有ベクトル

〔第 2 部 微分積分〕 選択者

1. 直線と 2 次曲線
2. 三角関数
3. 指数関数
4. 対数関数
5. 平面
6. 導関数
7. 初等関数の導関数
8. 平均値の定理とマクローリン展開
9. 関数の増減とグラフの凸凹
10. 偏微分と極値
11. 不定積分
12. 置換積分
13. 部分積分
14. 定積分
15. 面積

テキスト・参考書

①テキスト やさしく学べる基礎数学－線型代数・微分積分－ 石村園子 共立出版 2001 年

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 高校の数学の教科書 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ
微分積分学 矢野健太郎・石原繁 裳華房 1991 年

成績評価

- ①レポート 課題の理解 50%、学生自身の学習成果 50%として評価する。
- ②科目修了試験 課題A、Bのどちらか片方を選択して解答してもらい、100 点満点で評価する。

物理学が拓いた世界（夏期スクーリング）

担当教員： 秋本 晃一

1 年次～ 選択必修 2 単位

スクーリング科目／2025 年度

概要

有史以来、文明の進化には科学の進歩が必要不可欠であった。現代社会でも、様々な分野の発展に、物理学によって得られた知識が関わっている。さらに、人類が得たものは科学技術だけでなく世界観にまで及ぶ。本授業では、物理学の中で、力学をはじめ電磁気学などがどのように現代社会に関係しているかについて概観する。

授業の方法

【動画視聴型及び同時双方向型遠隔授業（manaba 及び Teams 利用）】

同時双方向型遠隔授業の開催時刻（1 日複数回）は授業日前日までに manaba に掲示する。授業日当日に講義資料は manaba に掲示する。また、Teams を利用した同時双方向型遠隔授業は録画し、その動画のリンクは授業日当日に manaba に掲示する。詳細は manaba に事前掲示。

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

現代社会の根幹を成す物理学の意義を理解すること。

授業計画

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 身の回りの物理現象と物理学 | 9. 電子、半導体素子、インターネット |
| 2. 地動説とケプラーの法則 | (以上第 3 日：manaba と Teams) |
| 3. ニュートン力学とその応用 | 10. 熱伝導、熱機関、熱放射 |
| (以上第 1 日：manaba と Teams) | 11. 永久機関、エントロピー、ブラウン運動 |
| 4. 粒子と波動の二重性 | (以上第 4 日：manaba と Teams) |
| 5. 原子核模型と量子力学 | 12. 相対運動と相対性理論 |
| 6. 原子、分子、物質の構造 | 13. 放射性同位元素と核エネルギー |
| (以上第 2 日：manaba と Teams) | (以上第 5 日：manaba と Teams) |
| 7. 電気と磁気、クーロンの法則から電磁波の発生 | 14. 放射線と原子力 |
| 8. 電波、レーザー、光通信 | 15. 環境と地球物理学 |
| | (以上第 6 日：manaba と Teams) |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

微分、積分、三角関数、指数関数、対数関数などの高校程度の数学を復習してくる。物理量の単位について、その表記を調べてくる。3 時間程度。

②使用教科書 指定しない。

③参考書 物理学基礎（第 5 版 新装版 Web 動画付）、原 康夫、学術図書出版社、2021 年

物理学はいかに創られたか（上、下）、アインシュタイン&インフェルト 著、石原 純 訳、岩波新書、1963 年

④準備するもの 動画や資料を視聴するための PC、スマートフォン。プリンタはなくても可。

⑤成績評価 全授業終了後に課題レポートを manaba に提出。レポートの論理性、知識、理解度などで総合評価する。

⑥学生へのメッセージ

さまざまな自然現象や現代社会で用いられる機器の原理を学びたい意欲をもって臨んで欲しい。

⑦追試験 対象外科目

生命の科学（テキスト）

担当教員：上田 実希・藤原 宏子

1 年次～ 選択必修 2 単位

テキスト科目／2025 年度

概要

生物学は生物と生命現象に関する学問である。生物は構造を持ち、物質を代謝している。また、代謝を調節するしくみや環境の変化に応答するしくみを持っている。さらに、子孫を残し、親の形質を引き継ぐしくみも発達させている。生物は、生命の誕生以来、環境の変化に伴って自らを変化させて、多様性を生み出してきた。

この科目では、生物が示す上記のような生命現象を学ぶことによって、「生命の不思議」を探究して欲しい。最近では生物学にかかわるニュースが、新聞やTV、さらにSNSなどの話題にあがることが多い。日頃からさまざまなニュースにも積極的に接し、レポートに活かしていただきたい。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ①生物、生命現象を教科書および様々なニュースなどから学び、「生命の不思議」を探究する姿勢を身につける。
- ②レポートでは、教科書に書かれた内容に限らず、広く自身の集めた情報を活かすことができる。
- ③試験では、設問に対して、150～300 字程度で概要を記述できる。
- ④学び全体を通して、日常生活において生命に関わる問題を論理的に考察し、的確な答えを見つけることができる。

学習の進め方

生物の進化、細胞分裂や生殖の仕組み、遺伝の仕組みとその因子、生物の分類などを中心に、指定のテキストを用いて網羅的に学習する。科目修了試験に向けては、テキストを深く理解することが必要である。

内容

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 生物と生物科学 | 9. 酵素の働き |
| 2. 生物の歴史 | 10. 生殖の種類と意義 |
| 3. 生物の分類 | 11. 減数分裂 |
| 4. 原核生物と真核生物 | 12. 遺伝の法則 |
| 5. 細胞の構造 | 13. 人類の起源と進化 |
| 6. 動物と植物 | 14. ヒトの遺伝 |
| 7. 好気呼吸と嫌気呼吸 | 15. 生物と文明 |
| 8. 遺伝子の発現とタンパク質 | |

テキスト・参考書

①テキスト 生物科学入門（三訂版） 石川統 裳華房 2003、学習の手引

②参考書 『レポート課題集』・「学習の手引」 参照のこと。

成績評価

- ①レポート 課題の理解 30%、独自の視点や解釈 30 点、論理的な記述 30%、レポートとしての完成度 10%として、評価する。
- ②科目修了試験 基本的に 4 問程度出題し、2 問程度を選択して解答する。その際、知識 40%、理解 30%、論理性 30%として、評価する。

その他

テキスト、参考文献、Web ページの資料などをつなぎあわせるのではなく、それを起点に独自の視点から興味と理解を広げ、個性あるレポート、解答を作成するよう期待する。

化学の世界（テキスト）

担当教員：澁谷 正俊・市川さおり

宮崎あかね

1 年次～ 選択必修 2 単位

テキスト科目／2025 年度

概要

私たちは無数の化学物質にかこまれて暮らしている。化学物質は、私たちの生活に豊かさと便利さを与える一方、様々な環境汚染の原因にもなっている。このような化学物質の二面性を理解し、それらを上手に使うことによって、受講者が安全で快適な暮らしを営むことが、この授業科目の目的である。そのために、まず化学の基礎知識をわかりやすく説明した後、生命現象にかかわる化学物質、暮らしにかかわる化学物質、環境汚染をひきおこす化学物質について詳しく解説する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

「化学」が日常生活にいかにかかわっているか理解し、化学を通してのものの見方が生活の上で役立っていることを説明できる。

学習の進め方

1. テキスト『化学の世界 1』は 8 章からなる。全体を通読した後、特に自分が関心のある章から詳しく読み直し、高校時代にあまり化学を学ばなかった者も「化学の世界」の大筋を理解する。
2. リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習したうえで、リポートの下書きを作成し、テキスト・参考文献との整合性等を確認し、さらに論理的な文章になっているかどうか検討した後、清書して提出する。
3. リポート合格の場合は科目修了試験に向けてテキスト・参考文献により学習する。リポート不合格の場合は改めてテキストを学習し、参考文献に当たった上でリポートを作成し、再度提出する。
4. 科目修了試験に向けて学習する際はテキストとリポート課題の復習を中心に学習すると良い。

内容

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1. 化学への誘い ～物質とは～ | 8. 生活と化学(1) 食べものの化学、住まいと化学 |
| 2. 基礎となる化学(1) 原子の構造 | 9. 生活と化学(2) 化学物質の安全性と問題点 |
| 3. 基礎となる化学(2) 化学結合と分子 | 10. 生命と物質(1) 酵素とタンパク質、DNA と RNA |
| 4. 身近な有機化合物(1) 脂肪族炭化水素、アルコールとエーテル | 11. 生命と物質(2) 生命工学 |
| 5. 身近な有機化合物(2) アルデヒドとケトン、カルボン酸とその誘導体、芳香族化合物 | 12. 地球環境の化学(1) 地球環境 |
| 6. 身のまわりの高分子化合物(1) 天然高分子 | 13. 地球環境の化学(2) 環境問題 |
| 7. 身のまわりの高分子化合物(2) 合成高分子 | 14. 化学とコンピュータ(1) 化学の貢献 |
| | 15. 化学とコンピュータ(2) コンピュータの貢献 |

テキスト・参考書

①テキスト 化学の世界 1 土屋・小尾・岡崎・浅岡・高橋・松影・蟻川・高橋著 日本女子大学 2001

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 化学—基本の考え方 13 章 中田宗隆 東京化学同人

成績評価

①リポート 全体を 100%としてテキストの内容の理解 50%および内容をまとめる力 50%で評価する。

②科目修了試験 第 1 問 33 点、第 2 問 33 点、第 3 問 34 点と配分し、合計点で評価する。各問、テキストの内容の理解および内容をまとめる力で評価する。

人間生理学（テキスト）

担当教員：鈴木 敦子

1 年次～ 選択必修 2 単位

テキスト科目／2025 年度

概要

生理学は生体の機能について学習する学問である。古典的な生理学は医学そのものであり、のちに生化学、薬理学、分子生物学などが分科してきた。したがって、現在では生理学が扱う領域は膨大となっているが人間として快適に生きていくために必須の知識が盛り込まれている。人間生理学では日常的に遭遇する場面で我々が外界からの刺激・環境変化にどのように処理・対処しているかを論理的に学んでいく。

（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ①正常な生体の機能を説明できる。
- ②外界の変化に応じた生体の調節機構を説明できる。

学習の進め方

1. テキストに沿って段階的に学習する。必要に応じて「学習の手引」を参照する。
2. 各章の学習を終えたところで、章末の「まとめ」の内容について復習する。
3. リポート課題を確認し、関係する箇所をテキスト・参考文献に基づき学習する。図書館を利用するとよい。
4. リポートの下書きを作成する。図を用いると理解しやすい。
5. 下書きしたリポートと、テキスト・参考文献との整合性等を確認した後、提出用リポートを作成して提出する。
6. リポート合格の場合は、科目修了試験に向けてテキストを基本として全体的に学習する。疑問が解けない時には、メールで教員に質問する。リポート不合格の場合は、リポートに赤字で記載してある教員の指示に従い、改めてテキストを学習してリポートを作成し、提出する。
7. 科目修了試験不合格となった場合は改めて学習し、次回の科目修了試験に備える。理解しにくかった箇所は、参考書などを利用して学習する。

内容

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 生理学の基礎知識（第1～2章） | 9. 循環系（第14章） |
| 2. ニューロン・シナプス（第3章） | 10. 呼吸（第15章） |
| 3. 筋収縮、体性感覚（第4～5章） | 11. 消化、栄養と代謝（第16～17章） |
| 4. 視覚、聴覚（第6章、第7章の1～3） | 12. 腎機能と尿生成、体温調節（第18～19章） |
| 5. 平衡感覚、味覚、嗅覚（第7章の4～7、第8章） | 13. 内分泌（第20章） |
| 6. 運動（第9章） | 14. 睡眠（第21章） |
| 7. 自律神経系、脳（第10～11章） | 15. 生殖（第22章） |
| 8. 血液、体液（第12～13章） | |

テキスト・参考書

①テキスト はじめの一步のイラスト生理学 改訂第2版 照井直人編著 羊土社 2012、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 ①やさしい環境生理学 鈴木郁子編著 錦房 2019

②人体の構造と機能 第6版 上田晃, 内田さえ, 鍵谷方子, 原田彰宏 医歯薬出版 2023

③標準生理学 第9版 本間研一監修 医学書院 2019

成績評価

①レポート 全体を 100%として、課題の理解 50%、「ねらい」「アドバイス」の活用 20%、学生自身の学習成果 15%、レポートとしての完成度(誤字・脱字も考慮する) 15%として評価する。

②科目修了試験 第1問 50 点、第2問 50 点。合計点で評価するが、1 問でも 0 点となった場合は不合格とすることがある。

その他

常に、自分自身の体を見つめて、外界の変化に応じた肉体・精神の変化をとらえると理解しやすい。

歴史学 (テキスト)

担当教員： 吉村 雅美

1 年次～ 選択必修 2 単位

テキスト科目／2025 年度

概要

課題を選択し、レポートを作成する。日本の古代史から近現代史の論点を学びながら、支配者や民衆・女性などが政治や社会とどのように関わりを持ち、各時代がいかに展開していったのかを考察する。テキストや参考文献をもとに、歴史に対する多様な見方ができるようになることを目的とする。歴史学を学ぶことによって、自身が抱える課題および日本や世界に関する現代的な課題についても考えてほしい。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ① 日本史における歴史事実を覚えるだけでなく、現代につながる歴史の流れや画期を理解する。
- ② 歴史についての考察力を持ち、特に現代社会との相違点や類似点についても考察しながら、自分なりの歴史観を持つ。

学習の進め方

まず、[内容]にしたがってテキストを熟読する。レポートはテキストとともに、テーマごとの参考文献も参考にしながら作成する。科目修了試験に向けて、[内容]の各テーマに注目しながら、テキスト全体を深く理解しておくこと。

内容

- | | |
|------------------------------------|--|
| () 内の章はテキストの章を表す。 | 10. 明治維新と民衆 (IV-1～IV-12) |
| 1. 古代国家の成立と東アジア (I-1～I-9) | 11. 「近代化」と帝国日本 (IV-13～IV-24) |
| 2. 古代国家の支配と人々の生活 (I-10～I-21) | 12. 近代の思想と社会 (IV-25～IV-34) |
| 3. 古代の宗教と社会 (I-22～I-31) | 13. アジアの戦争と第二次世界大戦 (IV-35～IV-44) |
| 4. 平安後期から鎌倉期の政治と社会 (II-1～II-10) | 14. 戦後の日本と歴史研究 (IV-45～IV-61) |
| 5. 室町期・戦国期の動乱 (II-11～II-20) | 15. 自分で歴史を見直そう！ 再考しよう！ 身近にある歴史を見直したり（自分の家族や居住している地域の歴史）、博物館を訪れたりして、興味のある歴史をより深く探究してください。 |
| 6. 中世の生活と文化 (II-21～II-30) | |
| 7. 近世への移行と幕藩権力 (III-1～III-12) | |
| 8. 近世の生活と思想 (III-13～III-27) | |
| 9. 近世後期の社会変容と幕末の動乱 (III-28～III-32) | |

テキスト・参考書

- ① **テキスト** 岩城卓二・上島享他編著『論点・日本史学』（ミネルヴァ書房、2022 年）、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ② **参考書** テキストのテーマごとに紹介されている文献など。

成績評価

- ① **レポート** 課題の理解 30%、学生自身の学修成果 30%、レポートとしての完成度 40%として評価する。
- ② **科目修了試験** 論述形式の問題全 2 問を出題し、総合的に評価する。基礎知識 30%、考察力 30%、記述力 40%として評価する。

文学 (テキスト)

担当教員： 石井 倫子・伊達 舞

1 年次～ 選択必修 2 単位

テキスト科目／2025 年度

概要

文学は、ことばによって「人間とは何か」を探求する営みです。この科目は、日本語によって書かれた文学作品を考察の対象とし、日本では文学を通じてどのように人間探求の営みがなされてきたのかを学ぶことを目的としています。

授業の方法

【印刷教材等】

テキストを指定、関連する項目を調べる。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ①日本文学のことばの変遷についての基本的な知識を習得する。
- ②上代～現代にいたる日本文学の展開についての基本的な知識を習得する。
- ③個々の文学作品について、その文学史的な意義や特徴を論ずることができる。

学習の進め方

テキストは、八十迄生きた国文学者が、日本文学研究への温かい視点をもって描いた文学史です。ジャンルや時代を超えた幅広い知識が記されています。その書かれた内容について、取り上げられている作品を実際に読みながら理解を深めていきます。その際、書かれている事項以外にも有名な作品は読みましょう。レポートは感想文ではありません。作品を精読しながら問題点を考察し、自分自身の言葉で論じることが求められます。

内容

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 文学とは何かー広い視野からとらえる | 9. 日本の文学(3) 中世文学 |
| 2. 日本文学のことば(1) 上代文学 | 10. 日本の文学(4) 近世文学 |
| 3. 日本文学のことば(2) 中古文学 | 11. 日本の文学(5) 近代・現代文学 |
| 4. 日本文学のことば(3) 中世文学 | 12. 日本の演劇(1) 中世演劇 |
| 5. 日本文学のことば(4) 近世文学 | 13. 日本の演劇(2) 近世演劇 |
| 6. 日本文学のことば(5) 近代・現代文学 | 14. 日本の演劇(3) 現代演劇 |
| 7. 日本の文学(1) 上代文学 | 15. 総括 |
| 8. 日本の文学(2) 中古文学 | |

テキスト・参考書

①テキスト 島津忠夫『老のくりごと』

②参考書 テキストの章毎に関連する分野の参考書があげられていますので、それを参照してください。

成績評価

①レポート 提出されたレポートは添削を経て返却されます。その添削が評価(課題の理解 50%、論理性 30%、アドバイスの活用 20%)となります。

②科目修了試験 100 点を満点とし、60 点以上を合格とします。

その他

古典文学と関係の深い能・狂言・文楽・歌舞伎などの伝統芸能をできるだけ多く鑑賞するように心がけてください。

言語と情報（テキスト）

担当教員： 衣川 隆生

1 年次～ 選択必修 2 単位

テキスト科目／2025 年度

概要

現在、日本国内だけではなく、世界各国で日本語を学ぶ人が増加しています。皆さんの周りを見回しても、日本語以外の言語を使って情報のやりとりをしている人々を目にすることも多いでしょう。また、多くの外国ルーツの人々が日本語を用いて情報のやりとりを目にすることも多くなっていると思います。では、今、どのような人たちが世界で、そして日本国内で日本語を学んでいるのでしょうか。また、歴史的に日本語教育はどのような考えで行われてきたのでしょうか。本科目では、「言語と情報」についての理解を深める糸口として日本語教育を取り上げます。国際社会や日本社会の状況の変化、日本語教育の歴史の考察を通して、日本語教育とは、誰のための、何のための教育か、そして、何を教育の対象としているのかについて学ぶことを目的とします。

授業の方法

【印刷教材等】

テキストを指定し、課題の趣旨に沿った文献調査や観察調査を行う。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2

到達目標

- ① 日本国内における外国人受入施策と日本語教育施策の歴史、及び現状・課題を理解し、調査対象とする地域の現状、及び課題を指摘することができる。
- ② 海外における日本語教育の歴史と現状・課題を理解し、調査対象とする地域の現状、及び課題を指摘することができる。
- ③ 第二言語としての日本語がどのように習得されるかの仮説を理解し、（自己分析を含む）調査対象者の言語習得プロセスを分析し、その仮説の妥当性を検証することができる。
- ④ 言語教育的な観点から日本語を分析的に観察しその特徴について論理的に説明することができる。

学習の進め方

以下の内容で提示する順にテキストの第1部、第2部を読み進めます。「はじめに」1回、各章2回のペースで読み進め、それぞれの章の章末にあるポストタスクから課題を選んで文献調査、観察調査を行います。レポート課題でポストタスクについてさらに深く調べ、結果を示すことを求めます。科目修了試験に向けてはテキストの第1部、第2部を深く理解しておくこと。

内容

はじめに	第5章
1) 介護・看護人材の受入の施策/日本語教育推進法	10) 日本語を教えるための文法(国語教育と日本語教育)
第2章・第3章	11) 日本語教育文法
2) 海外の日本語学習者の現状	第6章
3) 海外の日本語教師の現状	12) 教えるための文字
4) 国内の日本語学習者の現状	13) 教えるための語彙
5) 国内の日本語教師の現状	第7章
第1章	14) 社会とことば
6) 日本語教育の歴史と背景（明治以前）	15) やさしい日本語
7) 日本語教育の歴史と背景（明治以降）	
第4章	
8) 第二言語習得	
9) 教室指導の習得へのインパクト	

テキスト・参考書

- ① テキスト

新日本語教育を学ぶ なぜ、なにを、どう教えるか 遠藤織枝（編著） 三修社(2020)

② 参考書

『日本語教育への道しるべ 第2巻 ことばのしくみを知る（坂本勝信・手嶋千佳編）』凡人社

『日本語教育への道しるべ 第3巻 ことばの教え方を知る（近藤有美・水野愛子編）』凡人社

『日本語教育関係 参考データ集』文部科学省（毎年更新）

『海外日本語教育機関調査』国際交流基金（3年に一度更新）

『日本語教育の参照枠報告』文化審議会国語分科会(令和3年10月12日)

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/93476801_01.pdf

『「日本語教育の参照枠」の活用のための手引』文化審議会国語分科会日本語教育小委員会「日本語教育の参照枠」の活用に関するワーキンググループ(令和4年2月18日)

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/93705001_01.pdf

『JF 日本語教育スタンダード【新版】利用者のためのガイドブック』国際交流基金(2017年3月)

https://jfstandard.jp/pdf/web_whole.pdf

成績評価

①リポート

提出されたリポートは添削の上返却します。リポート（2課題）の採点結果を本科目の成績とします。採点にあたっての評価基準は以下の通りです。

- ・調査・分析の内容 40%
- ・引用文献・資料の適切さ 30%
- ・結果・考察の妥当性 30%

②科目修了試験

100点を満点とし、60点以上を合格とします。

その他

日本語学習支援は、ボランティアでもできる国際支援です。ぜひ、身の回りの日本語教室にも目を向けてください。

英語圏の文化（集中スクーリング）

担当教員：土屋 智子

1 年次～ 選択必修 2 単位

スクーリング科目／2025 年度

概要

アメリカ合衆国の歴史や文化について少しずつ様々な側面についてを取り上げます。

「移民の国」としてのアメリカについてを理解し、日本からアメリカに渡った女性移民についてを扱います。

特に、日本から移民が渡った西海岸やハワイに形成されている文化について扱います。

授業の方法

【動画視聴型遠隔授業（manaba 利用）】

テーマに関する動画を視聴した後、レポートを書いてもらいます。

学位授与方針との関係

大学 DP3

到達目標

- ① 英語圏の文化について、一定の知識を持ち、簡潔に説明することができる。
- ② 英語圏の文化の諸相を理解する。
- ③ 英語圏の文化への関心を深める。

授業計画

- (1) 「移民の国」としてのアメリカ 1
- (2) 「移民の国」としてのアメリカ 2
- (3) 「移民の国」としてのアメリカ 3
- (4) 「移民の国」としてのアメリカ 4
- (5) 「移民の国」としてのアメリカ 5
- (6) 日本人女性移民、写真花嫁について 1
- (7) 日本人女性移民、写真花嫁について 2
- (8) 日本人女性移民、戦争花嫁について 1
- (9) 日本人女性移民、戦争花嫁について 2
- (10) 日本人女性移民、戦争花嫁について 3
- (11) 西海岸について
- (12) 西海岸について
- (13) ハワイについて
- (14) ハワイについて
- (15) まとめ

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

本講義の内容を深く理解するために、配布するテキストの予習、および授業の復習に約 60 時間を必要とします。

② 使用教科書 ありません。

③ 参考書 授業中に適宜指示します。

④ 持参するもの 特になし

⑤ 成績評価 授業参加度 30%、レポート 70%。

⑥ 学生へのメッセージ 3 日間、どうぞよろしくお願いいたします。

⑦ 追試験 対象外科目

美術の歴史（集中スクーリング）

担当教員：手塚 恵美子

1 年次～ 選択必修 2 単位

スクーリング科目／2025 年度

概要

近代日本の美術の歴史をたどり、代表的な画家・彫刻家・工芸家・建築家の活動と作品を学びます。明治以降の美術界では、近世以前からの伝統美術を見直しながら、海外の表現・技法やシステムを取り入れ、新たな局面が開かれていきました。そうした時代の美術の魅力と意義を、海外との美術交流、美術と社会の関係にも着目しながら繙いていきます。講義の終盤には、現代の身近な環境の中のアートにも目を向け、考察を深めます。

授業の方法

【動画視聴型遠隔授業（manaba 利用）】

各回の講義動画を視聴し、課題（小テスト、小レポート）を提出。

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

近代日本の主要な美術家・美術作品・美術界の動向に関する基本的な知識を身につける。

主要な美術家の活動と作品を、時代背景・社会・文化と関連づけて考察する視点を養う。

現代へ受け継がれてきた文化資源としての美術の保護と活用、未来への継承について、主体的な問題意識を持つ。

授業計画

- | | | | |
|----|---------------|--------------------------------------|---------------------|
| 1 | イントロダクション | : 日本美術史の流れと近代美術 | |
| 2 | 西洋美術の受容と鑑賞の場 | : 西洋画の受容史、江戸時代の洋風画、明治時代の洋画 | |
| 3 | 博覧会と美術政策 | : 万国博覧会と国内の博覧会、明治政府の美術政策 | |
| 4 | ミュージアムの成立 | : 博物館・美術館の成立と展開、美術コレクションの形成、ミュージアム建築 | |
| 5 | 近代都市の形成と洋風建築 | : 江戸から国家の首都・東京へ、お雇い外国人の時代 | [第1日: 動画視聴型 manaba] |
| 6 | 日本人建築家の活躍 | : 日本人建築家の誕生と成熟、明治・大正・昭和の名建築 | |
| 7 | 美術学校・美術団体 | : 工部美術学校、東京美術学校、明治美術会 | |
| 8 | 洋風美術と伝統美術 | : 白馬会と東京美術学校西洋画科、日本美術院 | |
| 9 | モダニズムの時代 | : アカデミズムの確立、モダニズムの展開 | |
| 10 | 近代建築と装飾 | : 近代建築と装飾 | [第2日: 動画視聴型 manaba] |
| 11 | 文化遺産の保護・活用と継承 | : 文化遺産をめぐる制度の枠組み、近代建築と建築装飾の保存・修復 | |
| 12 | グラフィックアート | : 印刷技術による複製芸術と大衆 — ポスター、装幀・挿絵、絵葉書 | |
| 13 | パブリックアート | : 公共空間のアートの歴史と作例 | |
| 14 | 現代の壁のアート | : 現代都市の壁のアートの機能と問題点 | |
| 15 | まとめ | | [第3日: 動画視聴型 manaba] |

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

参考書に目を通し、近代から現代への美術の流れと講義各回の概要を把握しておく。講義受講後には、学んだことを振り返り、特に関心を引かれた点や疑問点について、manaba に提示する参考資料等を調べて理解を深める。（各回平均1時間）

② 使用教科書

教科書は使用しません。授業で取り上げる美術家・美術作品、参考資料については、リストを manaba に掲載します。

③ 参考書

『日本美術館』小学館、1997 年（「第8章 近代」以降）

『日本美術史』山下裕二・高岸輝 監修、美術出版社、2014 年（「第8章 明治時代 揺らぐ近代」以降）

④ 持参するもの

特にありません。

⑤ 成績評価

manaba への課題（小テスト、小レポート）提出 70% 筆記試験（manaba 上で実施）30%

⑥ 学生へのメッセージ

講義では、数多くの美術作品や建築、ミュージアムを取り上げます。知識の習得だけでなく、それらを実際に見に行く姿勢を大切にしましょう。

⑦ 追試験

対象外科目